

【メガソーラープロジェクト事業用地等の活用に係る サウンディング型市場調査結果（概要）】

サウンディング調査において、参加事業者からいただいた主なご意見等は以下のとおりです。

I 太陽光発電事業者

1 全参加事業者数 5者

○地区別参加事業者数

三田地区	播磨科学公園都市 (住宅用地)	播磨科学公園都市 (産業用地)	播磨科学公園都市 (都市運営用地)	淡路佐野地区
5	4	5	3	2

2 サウンディング調査結果の概要

主な意見
太陽光発電事業を、FIT 期間終了後も継続できるポテンシャルがある。
その他個別意見
<土地について> <ul style="list-style-type: none">・購入可能・できれば賃貸借を希望・できれば土地は賃貸借で、太陽光パネル設備のみの譲渡を希望
<ソーラーパネルについて> <ul style="list-style-type: none">・FIT 期間中は既存設備を活用し、FIT 期間終了後も FIP・PPA を活用する等により事業継続が検討可能・住宅地からの一定の距離確保が可能な用地環境のため、高効率パネルへ入替実施の上、蓄電池導入が検討可能
<その他> <ul style="list-style-type: none">・災害時には地域の非常用電源として活用検討可能・FIT 権利の円滑な譲渡手続きが課題

II 開発希望事業者

1 全参加事業者数 3者

○地区別参加事業者数

三田地区	播磨科学公園都市 (住宅用地)	播磨科学公園都市 (産業用地)	播磨科学公園都市 (都市運用地)	淡路佐野地区
1	1	2	1	0

2 サウンディング調査結果の概要

主な意見
産業用地であれば、製造業やデータセンター等事業者の需要が一定程度見込まれる。
その他個別意見
<土地について> <ul style="list-style-type: none">・想定される用途：製造業等の工場や事務所、倉庫、データセンター等の立地・FIT 期間中は発電事業を継続し、FIT 期間終了後、産業用地として立地・購入可能
<ソーラーパネルについて> <ul style="list-style-type: none">・FIT 期間終了を待たずに撤去、または期間終了後に撤去・新設する建物の屋根上などに、環境施設として既存パネルを再配置して活用することも可能
<その他> <ul style="list-style-type: none">・産業用地として活用するには、用途地域の変更が必要・インフラの確保（電力、水量）が必要